

## 産科医療人材に 県医師会助成金

鹿児島県医師会（池田琢哉会長）が、産科医療や地域医療に携わる人材を支援するため



人が助成金を受け取り、思いを新たにしていた。

助成金を受けた鹿児島大学病院の産婦人科医、鬼ヶ原幹久さん(27)は「男性の産科医が減る中で、このような支援が受けられることはモチベーションが上がる」と感謝。鹿児島医療福祉専門学校助産学科1年の下園菜奈美さん(25)は「妊娠か

ら設置した基金「はやぶさプラン」の贈呈式が23日、鹿児島市の県医師会館であった。写真。研修医や学生ら46

ら子育てまで、一貫したケアができる助産師になることが目標。勉学に役立てたい」と意気込みを語った。

はやぶさプランは県医師会が2014年に設立し、これまでに8154万円の寄付金が集まっている。

（中元聡史）